

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第 32 回幹事会議事要旨

- 1 日 時：令和 7 年 7 月 15 日（火）11 時 00 分～12 時 00 分
- 2 場 所：オンライン（Zoom）
- 3 出席者：寶（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、岡島
オブザーバー：林（東京海上日動）
陪席者：松本（防災科学技術研究所）、小松原（セコム）、大貫（筑波大学）、増田（〃）、栗原（〃）、
酒井（〃）、根本（〃）

（敬称略）

4 議事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

【審議事項】

(1) 2025 年度 R2EC 単独開催シンポジウムについて

岡島委員から、資料 1-1~1-2 に基づき、企画案の説明があった。また、国立大学協会の開催助成に申請したが、不採択となったとの報告があった。結果をふまえ、現企画案をベースに、筑波大学で会場を含めた詳細を引き続き検討することとなった。

(2) 2025 年度 R2EC・巨大災害研究会合同シンポジウムについて

岡島委員から、資料 2-1~2-2 に基づき、企画案の説明があり承認された。また、セコム科学技術振興財団の開催助成に申請予定である旨の説明があり、申請を進めることが承認された。

【意見交換事項】

(1) コンソーシアムの会員制度の見直しについて

岡島委員より、資料 3-1~3-2 に基づいて説明があり、意見交換が行われた。議論の結果、以下の方針で進めることとなった。

- ・正会員：企業・研究機関

- ・準会員または特別会員（名称は今後検討）：団体・行政機関・大学を想定

- ・次回の幹事会で規約改正案を提示し、継続検討

(2) その他

岡島委員から、次回の運営委員会（11 月）の開催地について、引き続き候補機関と調整中である旨の報告があった。

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

【報告事項】

(1) その他

岡島委員から、7 月期大学院入試の実施報告があり、コンソーシアム関係者 1 名の受験があった旨の情報共有があった。

以上